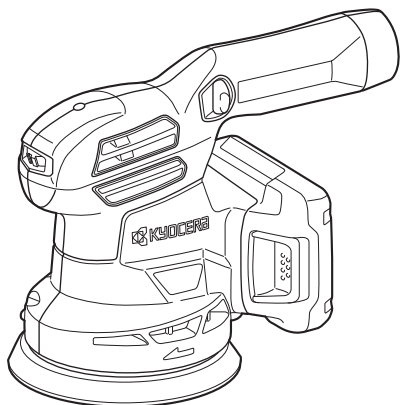


充電式サンダポリッシャー BRSE-1800L1 BRSE-1800（本体のみ仕様）

取扱説明書

保証書付



Li-ion

リチウムイオン電池は
リサイクルへ

※ BRSE-1800（本体のみ仕様）
には、充電器・電池パック・
収納バッグは付属しており
ません。

もくじ

| | |
|-----------------|-------|
| ■安全上のご注意 | 1～8 |
| ■各部の名称 | 9 |
| ■仕様・付属品 | 10 |
| ■用途・別販売品 | 11 |
| ■1充電あたりの作業量（目安） | 11 |
| ■電池パック・充電器について | 12～15 |
| ■ご使用前の準備 | 16 |
| ■操作方法 | 17～19 |
| ■使用方法 | 20～23 |
| ■別販売品について | 24～26 |
| ■保守と点検 | 27～28 |
| ■保証書 | 裏表紙 |

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、
本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるよう
お願いいたします。また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。

安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
 - ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。ご使用上の注意事項は「△危険」と「△警告」と「△注意」に区別してありますが、それぞれ次の意味を表します。
 - △ 危険：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。
 - △ 警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。
 - △ 注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
- なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。「△危険」・「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「△」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
 - 他の人に貸出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

△ 危険

安全作業のために：

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
 - ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは火への投入、加熱をしないでください。
3. 電池パックに釘を刺したり、衝撃を与えたり、上に物を置いたり、分解・改造をしないでください。
4. 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
 - ・電池パックを充電工具または充電器から取外して保管する場合は、金属物の接触による短絡を防ぐため、ビニール袋に入れてください。電池端子が短絡して発火のおそれがあります。
5. 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・発熱・発火・破裂のおそれがあります。

危険

6. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
7. 電池パックを水のような導電体に浸さないでください。また、電池パックの内部に水のような導電体を浸入させないでください。
 - ・発熱、発火、破裂のおそれがあります。
8. 電池パックを電源コンセントや、車のシガーソケットなどに直接接続しないでください。
 - ・高い電圧が加えられることによって、感電したり、過大な電流が流れ、電池が漏液、発熱、破裂、発火する原因になります。
9. 電池パックは指定以外の充電工具で使用しないでください。
 - ・指定の充電工具以外の用途に使用すると、充電工具によっては異常な電流が流れたりして、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。

警告

1. 正しく充電してください。
 - ・この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
 - ・周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
2. 感電に注意してください。
 - ・ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
3. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電の原因になります。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業はけがのおそれがあります。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。爆発や火災のおそれがあります。
4. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

警告

5. 防音保護具を着用してください。
 - ・騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
6. 加工するものをしっかりと固定してください。
 - ・加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
7. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、本体から電池パックを取外してください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
8. 不意な始動は避けてください。
 - ・スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・電池パックをさし込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
9. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・この取扱説明書および当社総合カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
10. 電池パックの液が目に入ったら直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。
 - ・失明のおそれがあります。
11. 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。
12. ご使用済みの電池パックは一般家庭ゴミとして廃棄しないでください。
 - ・棄てられた電池パックがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になるおそれがあります。
13. 電池パックを電子レンジに入れしないでください。
 - ・急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火する原因になります。
14. 電池パックの使用、充電、保管時に異臭を発したり発熱をしたり、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついたときは充電工具あるいは充電器より取外し、使用しないでください。
 - ・そのまま使用すると、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
15. 電池が漏液したり、異臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
 - ・漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
2. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所または鍵のかかる所に保管してください。
 - ・ 充電工具や電池パックを、温度が45℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
4. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれるおそれがあるので着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

⚠ 注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
12. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意し、常識を働かせて慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
13. 十分な、防塵対策や飛散防止対策をしてください。
 - ・特に、人体に有害な成分を含む材料を加工するときは、注意してください。
14. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
15. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
 - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
16. 電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
 - ・皮膚がかぶれたりするおそれがあります。
17. 電池パックは出荷前に若干量の充電をしておりますので、充電工具の動作確認にお使いください。動作確認ができない場合や、長時間の使用の場合には、指定の充電器で充電してからお使いください。
18. 電池パックの端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてから使用してください。
 - ・充電工具との接触が悪くなり電源が切れたり、充電されなくなることがあります。

注意

19. 電池パックには危険を防止するための保護装置が組み込まれています。保護装置にダメージを与えるような静電気が発生する場所で使用しないでください。
 - ・ 保護装置が壊れ、電池パックが発熱、破裂、発火する原因になります。
20. 充電工具の修理は、専門店で依頼してください。
 - ・ サービスマン以外の人は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行なわないでください。
 - ・ 充電工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - ・ この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
 - ・ アスベスト（石綿）周辺的环境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。

充電式サンダポリリッシャーご使用に際して

先に電動工具として共通の警告・注意事項を述べましたが、充電式サンダポリリッシャーをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

警告

1. 使用中、振回されないよう本体は確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
2. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
3. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
4. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
5. 電池パックは発煙、発火、破裂のおそれがあります。次のようなことはしないでください。
 - ・ 端子に金属類を接触させないでください。
 - ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れてください。
 - ・ 雨や水にぬらさないでください。

警告

6. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所での使用や充電はしないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。
7. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
8. 充電器の電池パック装着部には充電用端子があります。金属片、水などの異物を近付けないでください。
9. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
10. 絶対に分解したり修理・改造しないでください。
 - ・発火したり、異常作動してけがの原因になります。

注意

1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・材料や本体などを落としたりしたときなど、事故の原因になります。
3. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。
4. 使用後、点検・整備するとき、本機から離れるときには、必ず電池パックを本体より取外してください。
 - ・不意な始動により、けがや破損の原因になります。
5. 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。



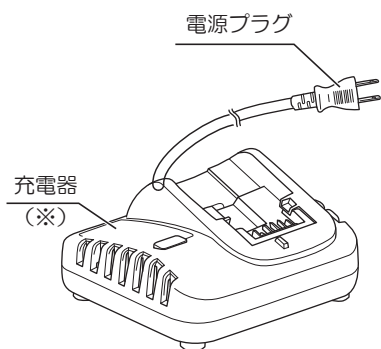
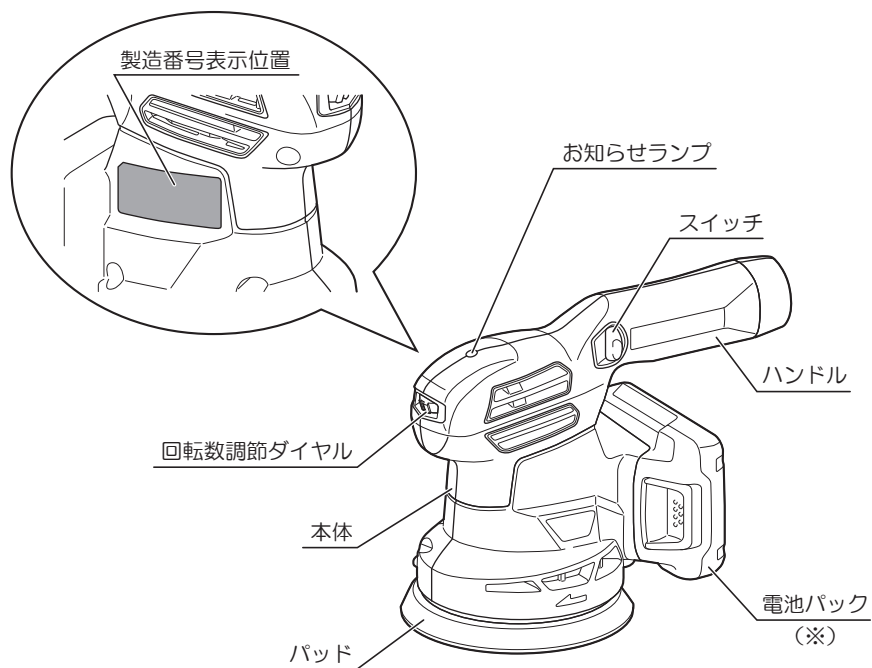
リチウムイオン電池の回収にご協力ください。

左のマークはリサイクルができるリチウムイオン電池を使用していることを表しています。希少資源のリサイクル活動と環境保護のため、使用済みのリチウムイオン電池の回収を行なっていますので、不要になったリチウムイオン電池（電池パック）は、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちくださるようお願いいたします。

⚠ 注意

- ・ 不要になったリチウムイオン電池（電池パック）をそのまま放置されますと、端子部分の短絡により発熱することがありますので、端子部分にビニールテープなどを貼って短絡防止をしてください。

各部の名称



(※) 本体のみ仕様には、充電器・電池パックは付属しておりません。

仕様・付属品

●仕様

●本体

- ・ 無負荷回転数 6,500 ~ 9,000 min⁻¹
- ・ パッド寸法 (径) 123 mm
- ・ 電源 18V (リチウムイオン)
- ・ 本体寸法^{*1} (長さ×幅×高さ) 227 × 123 × 172 mm
- ・ 質量^{*1} 1.8 kg
- ・ 振動 3 軸合成値^{*2}: IEC62841-2-4 に基づき測定 5.4 m/s²

※1 電池パック (B-1815LA) 取付け時の値です。

※2 『3 軸合成値の取扱い』については、日本電機工業会のウェブサイトで紹介しておりますのでご参照ください。

<http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html>

●電池パック (B-1815LA)

- ・ 電圧 DC 18V^{*3}
- ・ 電池 リチウムイオン電池
- ・ 容量 1,500mAh
- ・ 質量 0.35kg

※3 18V 電池パックにはラベルの電圧表示が異なる電池パックがありますが、同等の性能であり問題なくご使用になれます。

●充電器 (UBC-1803L)

- ・ 電源 AC 100V 50/60Hz
- ・ 定格出力電圧 DC 10.8-18V
- ・ 充電時間^{*4} 69 分
- ・ 質量 0.31kg

※4 充電時間は、周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

◆上記は当社の基準に基づいた値です。

●付属品

- | | | |
|--------------------|---|--------------------------|
| ・ ポリッシングスポンジ | 1 | } 本体のみ仕様には、 付属していません。 |
| ・ 収納バッグ | 1 | |
| ・ 充電器 (UBC-1803L) | 1 | |
| ・ 電池パック (B-1815LA) | 1 | |

用途・別販売品

●用途

- ・ 自動車の塗装面の磨き
- ・ 木材、金属の研削研磨、塗装はがし

●別販売品

- ・ ポリッシングスポンジ（外径 125 mm）（付属品）
- ・ スムーズペーパー マジック式（外径 125 mm）
- ・ 各種バフ（外径 125 / 150 mm）
- ・ 手掛けバフ（外径 125 mm）
- ・ 自動車用艶出し剤 100mL（コンパウンド）
- ・ マイクロファイバークロス
- ・ 電池パック（14 ページ『●電池パック、充電器について』参照）
- ・ 充電器（14 ページ『●電池パック、充電器について』参照）



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



1 充電あたりの作業量（目安） （周囲温度 20℃）

※ 表中の数値は満充電にしたときの参考値です。電池パックの電池容量および、バフの種類、コンパウンドの種類、作業状況、周囲温度などにより数値は異なります。

| 車の磨き作業 （1,500mAh 電池パック使用時） | |
|-------------------------------|--------|
| 変速ダイヤル | 連続作業時間 |
| 6 | 10 分 |
| 4 | 14 分 |

電池パック・充電器について

⚠ 危険

1. 指定の充電式電池パック以外は使用しないでください。
 - ・改造した電池パック（分解してセルなどの内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。充電工具本体の性能や安全性なども損なうおそれがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
2. 電池パックは指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。

⚠ 警告

1. 正しく充電してください。
 - ・充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し、火災のおそれがあります。
 - ・周囲の温度が0℃以下、または周囲の温度が40℃以上では電池パックを充電しないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・電池パックは換気の良い場所で充電してください。充電中、電池パックや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災のおそれがあります。
 - ・使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災のおそれがあります。
2. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、可燃性ガス、接着剤などのある場所での使用や充電はしないでください。
 - ・爆発や火災のおそれがあります。
3. 火災のおそれがありますので、次のようなことはしないでください。
 - ・段ボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすい物をさし込まないでください。
 - ・綿ほこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

⚠ 注意

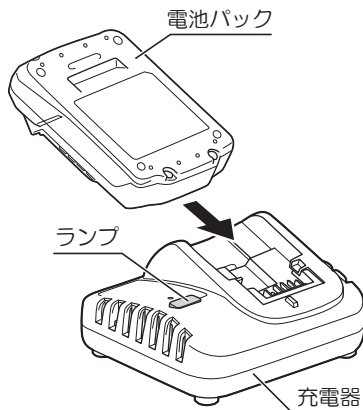
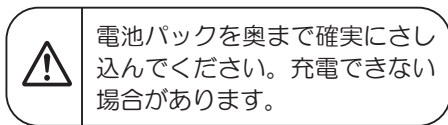
1. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
 - ・コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。感電やショートして発火するおそれがあります。
2. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

電池パック・充電器について

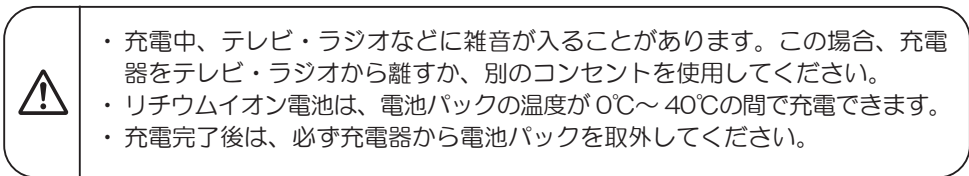
●充電方法

- ・充電中は充電器本体に多少の熱を持ちますが性能には影響ありません。充電状態は充電器のランプで表示しています。(表1参照)

1. 充電器の電源プラグを電源コンセントにさし込みます。
2. 電池パックを充電器にさし込みます。



3. 充電が完了したら電池パックをスライドして充電器から抜取ります。
4. 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。



充電器 (UBC-1803L) ランプ表示

表 1

| 表示モード | ランプの表示 | | 表示内容 |
|-------|--------|----------|---|
| 充電前 | 緑 | 点 滅 | 充電器をコンセントにさし込んだ状態。 |
| 充電中 | 赤 | 点 灯 | 充電している状態。 |
| 保護充電中 | 赤 | 点 滅 | 電池保護のための初期充電状態。※ |
| 充電完了 | 緑 | 点 灯 | 充電が完了した状態。 |
| 温度待機 | 緑 | 短点滅 | 電池パックの温度が充電に適した温度でない状態。 ・充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。 |
| 充電不可 | 緑・赤 | 短点滅 (交互) | 充電できない状態。 以下の原因が考えられます。 ・電池パックのさし込みが不十分。 ・電池寿命または電池パック、充電器の故障。 |

※ 購入後、初めての使用時や、長期保管後の電池パックは“保護充電中”になる場合があります。保護充電が終了すると、自動で“充電中”に切り替わります。

●電池パック、充電器について

- ・本機に使用可能な電池パックおよび充電器で充電する場合の充電時間は表2の通りです。お手持ちの電池パック、充電器をご使用の場合、または購入される際は、表2をご確認ください。

表2

| 充電器 | | 電池パック | | リチウムイオン電池 | | | |
|--------------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------------|-----------------------|---|-----|--|
| | | B-1815LA 1,500 mAh | B-1850LA 5,000 mAh | B-1860LA 6,000 mAh | DB3625L ^{※4} 2,500 mAh (36V) 5,000 mAh (18V) | | |
| 充電時間 ^{※1} | UBC-1803L ^{※2} | 69分 | 250分 | 262分 | 250分 | | |
| | UBC-1802L ^{※2} | 25分 | 84分 | 91分 | 84分 | | |
| | BC-1800L | 80%充電 ^{※3} (実用充電) | 18分 | 25分 | 31分 | 25分 | |
| | | 満充電 | 24分 | 37分 | 47分 | 37分 | |
| | UBC1804L | 80%充電 ^{※3} (実用充電) | 16分 | 46分 | 60分 | 46分 | |
| | | 満充電 | 21分 | 54分 | 67分 | 54分 | |

※1 充電時間は、周囲の温度や電池パックの状態により変動します。

※2 充電器 UBC-1802L, UBC-1803L は、満充電時の時間です。

※3 80%充電(実用充電)は、満充電の80%の充電状態です。

※4 **DP** (デュアルパワーボルト) の電池パックです。

工具本体により自動で 36V 2,500mAh / 18V 5,000mAh に切り替わります。

付属品以外の電池パック、充電器をご使用の場合は、各商品の説明書などをご確認ください。



電池パックの種類によっては本機が転倒するおそれがありますのでご注意ください。

電池パック・充電器について

●電池パックの保管について

注意

- ・ 電池残容量が少ない状態で放置しないで充電してください。
お知らせランプが点滅する場合は、充電してから保管してください。
- ・ 満充電状態の電池パックを再度充電しないでください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合は、満充電にして保管ください。
- ・ 電池パックを長期間保管する際は、必ず本体または充電器から取外して保管ください。

●電池寿命について

- ・ 正しく充電しても使用時間が著しく短くなった場合には、電池寿命とお考えいただき、新しい電池パックをお買い求めください。

ご使用前の準備

●作業する場所に関して

- ・作業場は整頓をし、明るくしてご使用ください。

●ポリッシングスポンジの取付け

- ・18 ページ『●ポリッシングスポンジの取付け』参照

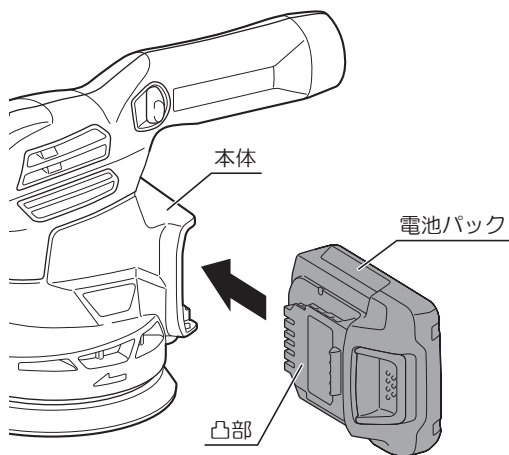
●電池パックの取付け、取外し

(取付け)

- ・本体内側の溝に電池パックの凸部を合わせ、矢印方向にまっすぐ奥までスライドさせ、確実にさし込んでください。

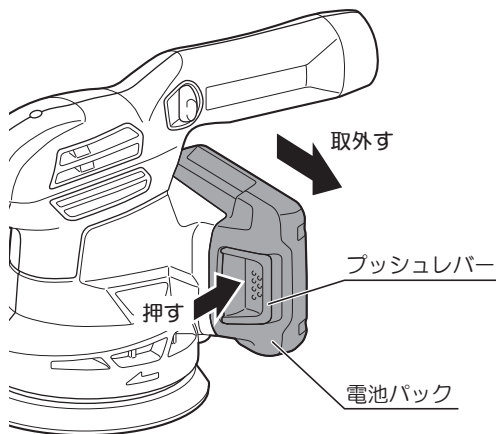


- ・スイッチを入れた状態で電池パックを取付けても起動しません。お知らせランプが点滅し、保護機能が働きます。
(23 ページ『●本体が動かなくなったときには(保護回路作動)』参照)
- ・一旦、スイッチを切って、再度スイッチを入れると起動します。



(取外し)

- ・ブッシュレバーを押えて、電池パックを矢印方向にまっすぐ取外してください。



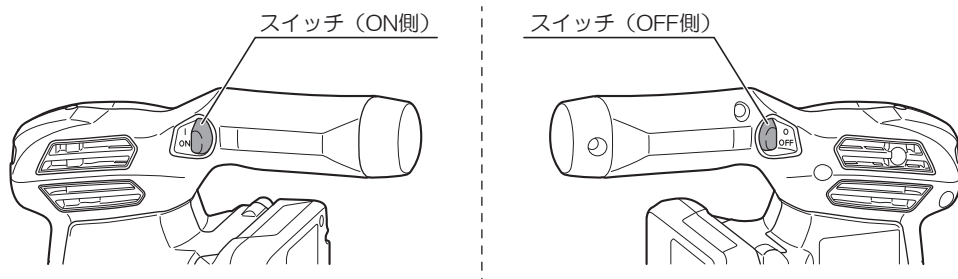
操作方法

●スイッチの扱い方

⚠ 注意

・ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。けがや故障の原因になります。

- ・ 本機のスイッチは押しボタン式です。
- ・ スイッチは“ON”側から押すと入り、“OFF”側から押すと切れます。



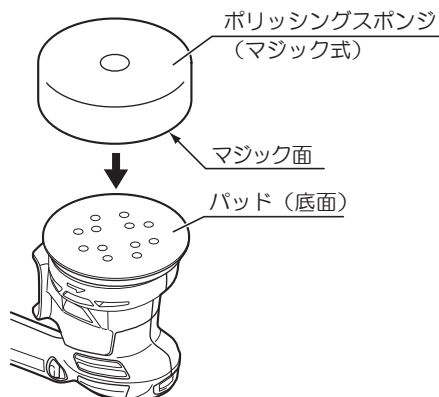
- ・ スイッチを入れた状態で電池パックを取付けても起動しません。お知らせランプが点滅し、保護機能が働きます。
(23 ページ『●本体が動かなくなったときには (保護回路作動)』参照)
- ・ 一旦、スイッチを切って、再度スイッチを入れると起動します。

●ポリッシングスポンジの取付け

⚠ 警告

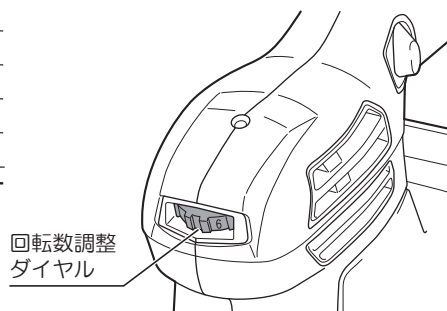
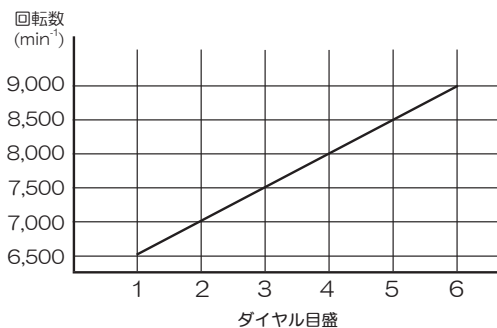
- ・ポリッシングスポンジの取付け、取外しの際は必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

- ・マイクロスティック（マジック式）です。パッド底面へポリッシングスポンジ裏面を合わせ、押さえるだけでセットできます。



●回転数調節ダイヤル

- ・回転数調整ダイヤルを回すことにより、回転数を無段階に調節できます。
- ・ダイヤル表示は1～6まであり、数字が大きくなるに従って回転数は高くなります。
- ・下表を参考にして作業に合った回転数に調節ください。



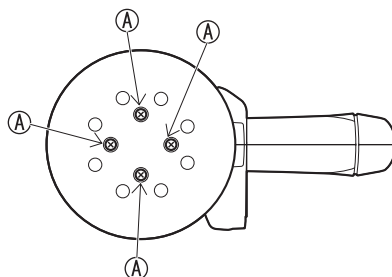
操作方法

●パッドの交換

⚠ 警告

- ・パッドの交換時は必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

- ・長時間ご使用になりますと、パッド底面の摩耗により、ポリッシングスポンジのマジック面が付きにくくなります。その際はパッドの交換をしてください。
- ・パッド面を上に向けたのちパッドを手で押さえ、パッドを固定している4本のネジⒶを、⊕ドライバーでゆるめるとパッドは外れます。
- ・新しいパッドを取付ける際には、外したときの逆の要領でネジを締付けて、取付けます。



Ⓐ パッド固定ネジ4ヶ所



- ・パッド交換をされた場合や初めてご使用になる前には、ネジがゆるんでいないことを必ず確認してください。
- ・4本のネジⒶは、ネジ山を合わせてから締付けてください。

使用方法

●自動車の塗装面の磨き作業

⚠注意

- ケミカル製品の中には、溶剤などを含み商品本体の接着部分などに悪影響を与えるものがあります。ご使用前には、ケミカル製品の成分をご確認の上、正しくご使用ください。
- 付属のポリッシングスポンジや別販売品のバフは、「ポリッシャー用」と表示のあるコンパウンドなどのケミカル製品と一緒にご使用ください。
- 適切なケミカル製品を使用しないで作業をした場合、効果が得られず、塗装の種類によっては傷をつけるおそれがありますので、ご注意ください。
- ケミカル製品の使用説明通りにポリッシングスポンジやバフを使い分けてください。
- 目立たない部分で必ずテスト運転をして、傷などがつかないことを確認した後に作業をしてください。
- ボディ各部の塗装面の状態により、作業時間が異なります。
- 車を磨くための付属のポリッシングスポンジは、スポンジ面に異物が付着しないよう十分注意してください。
 - 右図のようにスポンジ面を下に向けた状態で異物が付着するところに絶対に置かないでください。異物が付着した状態で磨くと、車を傷つけるおそれがあります。
- ガラス面、ゴム部、足まわり（タイヤ、ホイール、泥よけ）への磨きはしないでください。
 - 磨きによるゴム部分の焼け焦げを防いだり、ガラス面へのコンパウンドの付着を防ぐためゴム部分（窓枠のようなゴムが使用されている箇所など）、ガラス面に養生（マスキング：テープなどでふさぐこと）してください。
- 直射日光を避けた環境で作業を行なってください。直射日光により車が熱くなっている場合は、車に水をかけ、温度を下げてから作業してください。熱によりコンパウンドが固まりやすくなり、本来の性能が得られません。（水をかけた場合は、水をふき取ってください。）
- 無理に強く押しつけて作業しないでください。樹脂部、メッキ部は、熱がでるような過度の磨きはしないでください。
無理に押しつけて作業すると、均一な仕上げ面が得られないだけでなく、車の損傷や本機の破損・故障の原因になります。
- 通風口を手などでふさがしないでください。モーター焼けの原因になります。
- 必ずスポンジバフを取付けた状態で使用してください。車を傷つけたり、パッド損傷の原因になります。



無負荷運転時には、パッドが回転しないまたは逆回転することがあります。異常ではありません。本機はランダム回転構造によるもので、パッドに軽く負荷をかけるとパッドは正回転します。

使用方法

●磨く前の準備

車を洗淨する

- ・水道水や高圧洗淨機で車全体を洗車し、泥や砂ぼこりなどの汚れを洗い流します。



異物がある状態では磨かないでください。異物が付着した状態で磨くと、車を傷つけるおそれがあります。

- ・洗車後は、車の水気をふき取ってください。

●使用する（磨く）

① ポリッシングスポンジを取付ける

警告

- ・ポリッシングスポンジの取付け、取外しの時は必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。不意な始動によるけがの原因になります。

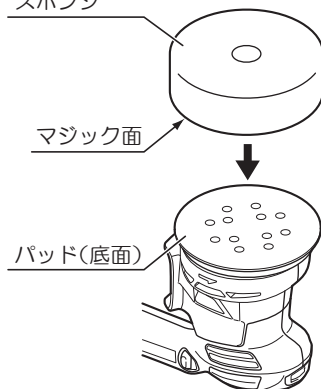
- ・パッド（底面）に付属のポリッシングスポンジ（マジック面）を取付けます。ポリッシングスポンジの中心にパッドがくるように取付けてください。

（18 ページ『●ポリッシングスポンジの取付け』参照）

ポリッシング
スポンジ

マジック面

パッド（底面）



② 回転数を設定する

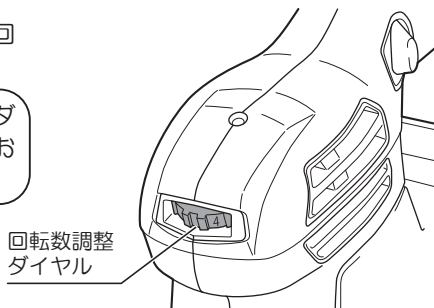
- ・回転数調節ダイヤルを操作して、作業に合った回転数に調節してください。



細かい部分やボディ端などは、低速（ダイヤル1～2）にして作業することをお勧めします。

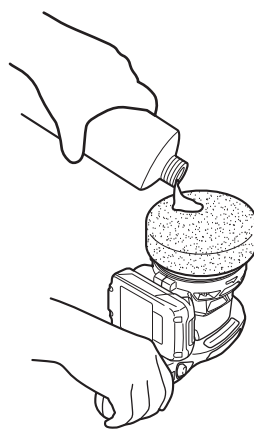
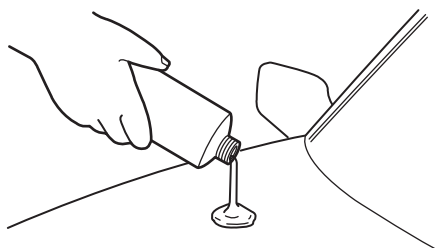
（18 ページ『●回転数調節ダイヤル』参照）

回転数調整
ダイヤル



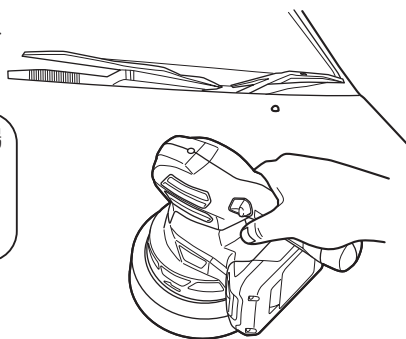
③ コンパウンドを付ける

- ・ 付属のポリッシングスポンジや別販売品のバフにコンパウンド（ケミカル製品）を付けるか、あらかじめ塗装面の方に適量を付けておいて作業してください。



④ 磨きを始める

- ・ ポリッシングスポンジやバフを塗装面に当ててスイッチを入れ（ON）ます。



スポンジに直接コンパウンドを付けた場合は、スポンジを浮かした状態でスイッチを入れると、コンパウンドが飛び散ります。

⑤ コンパウンドを広げながら磨く



この時、本体は支える程度で、押しつけは不要です。

③～⑤の作業を繰り返して、車全体を磨いていきます。

● 磨き作業後

- ・ 作業終了後、隙間などに入ったコンパウンド粉は、別販売品のマイクロファイバークロスでふき取るか、車全体を水洗いしてコンパウンド粉を洗い流してください。

使用方法

●本体が動かなくなったときには（保護回路作動 / 電池切れ）

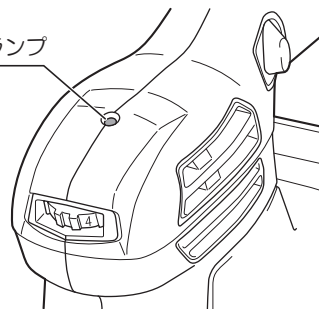
⚠ 警告

- ・本体が動かなくなったときには、必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外した後、原因を取除いてください。不意な始動による、けがの原因になります。

- ・本機には本体の保護および電池寿命を保つため保護回路を搭載しており、保護回路が働いているときは動きません。また電池切れの場合も動きません。

本体が動かないときは、スイッチを入れ「お知らせランプ」の点灯状態を確認のうえ、下表を参考に原因を取除いてください。

お知らせランプ



本体が動かなくなった

| | | | | | | |
|---|--------------------|---------|----------------------------------|---------------|---------------------------------|---------------------|
| 症状 | スイッチを入れても動かない。 | | | | | |
| お知らせランプ | 点灯しない | 点滅 → 消灯 | | | | |
| 原因 | 電池パックがきちんと取付かれていない | 電池切れ※ | 本体が過負荷状態になった | 電池パックの温度が高い | スイッチを切った直後に再度スイッチを入れている | スイッチを入れた状態で電池パックを挿入 |
| 処置 | 電池パックをきちんと取付ける | 充電する | スイッチを切り、電池パックを本体から取外し、過負荷の原因を取除く | 電池パックを常温まで冷ます | スイッチを切ってから5秒程度経過した後に再度、スイッチを入れる | スイッチを切り、再度スイッチを入れる |
| 処置後も異常がある場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にお持ちください。 | | | | | | |

※ 電池切れに近づくとお知らせランプが点灯し（このときは本体は動いている）、そのまま使用した場合、電池切れで本体が止まり、点滅・消灯します。

別販売品について



- ・ 別販売品は純正品をお買い求めください。
別販売品の詳細につきましては、総合カタログでご確認のうえ、商品お買い上げの販売店またはパワーツール取扱店でお買い求めください。
- ・ 別販売品は予告なく変更することがあります。

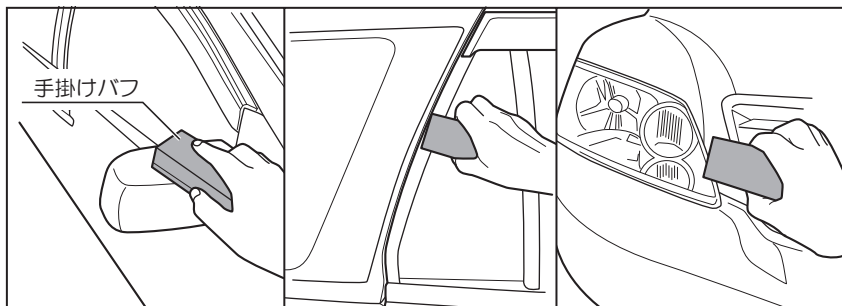
<電子カタログ>

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/catalog/>



●手掛けバフ／マイクロファイバークロス

- ・ 細かい場所は付属の手掛けバフを使用し、手で磨いてください。
コンパウンドはスポンジ面（グレー側）につけます。

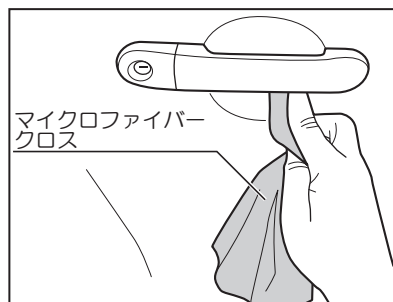


例：ドアミラー

例：ドアフレーム

例：ボンネット（フロント）

- ・ 手掛けバフでは難しいドアノブなどの凹部は、別販売品のマイクロファイバークロスに、コンパウンドを塗布し、手で磨いていきます。



別販売品について

●スムーズペーパー（マジック式）

⚠ 警告

- ・加工する材料は確実に固定してください。特に、小さい材料を加工する場合はパイプなどで動かないように固定してください。加工材が不安定ですと、けがの原因になります。
- ・水、オイルなどを使っての湿式研磨作業はしないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- ・無負荷運転時には、パッドが回転しないまたは逆回転することがあります。異常ではありません。本機はランダム回転構造によるもので、パッドに軽く負荷をかけるとパッドは正回転します。



- ・無理に強く押しつけて作業しないでください。無理に押しつけて作業すると、均一な仕上げ面が得られないだけでなく、ペーパーの破れや機械故障の原因になります。
- ・通風口を手などでふさがないようにください。モーター焼けの原因になります。
- ・必ずペーパー、ポリッシングスポンジ、バフを取付けた状態で使用してください。パッド損傷の原因になります。

【取付け可能ペーパーサイズ】… (径) 125 mm

- ・加工材に合わせ、スムーズペーパー（マジック式）の粒度（＃）を選定してください。

スムーズペーパー（マジック式）の目安

| 作業内容 | スムーズペーパー（マジック式） | | | 回転数 |
|------------|-----------------|---------|---------|-----|
| | 粗削り | 中仕上げ | 仕上げ | |
| 合板 | 240 | 320 | 400 | 低～中 |
| 軟かい木材 | 40～80 | 120～180 | 240～400 | 中～高 |
| 硬い木材 | 40～60 | 80～120 | 180～400 | 中～高 |
| アルミニウム | 80 | 120 | 240 | 低～中 |
| ステンレス | 120 | 180 | 240 | 中～高 |
| 塗装面のサンディング | 180 | 240 | 320～400 | 中～高 |
| 塗装はがし | 40 | 60 | 80 | 低～中 |
| サビ取り | 120 | 180 | 240 | 低～中 |

作業に合ったペーパーを取付け、回転数を調節してください。

ペーパーの取付けは、ポリッシングスポンジの取付けと同じ要領で行なってください。

（18 ページ『●ポリッシングスポンジの取付け』参照）

（18 ページ『●回転数調節ダイヤル』参照）

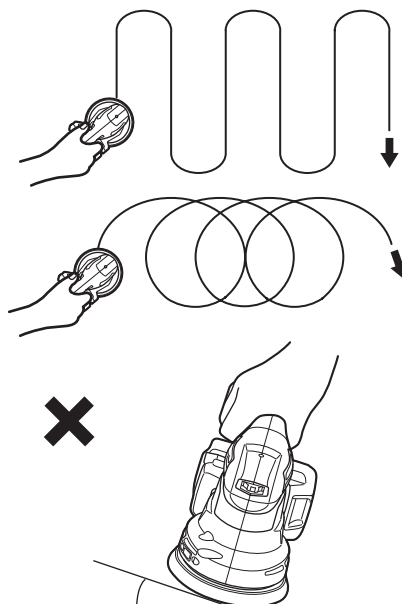
●研削作業

- ・スイッチを入れ、モーターの回転が十分に上がってから、ディスクペーパー全体を、パッドの回転が止まらない程度に軽く押付けて作業してください。



- ・強く押付けると、モーター焼け、パッドの破損の原因になります。
- ・研削ムラがでないよう、全体の面を均一に、上下左右に、あるいは円を描くように作業してください。

- ・パッドが傾いたりしないよう注意してください。
- ・スイッチを切るときは、加工材の上に本体を置いたまま、スイッチを切ってください。回転運動が停止する前に本体を引き離すと、不要な削り跡を残すことがあります。



保守と点検

⚠ 警告

- ・ 保守、点検、部品交換などのお手入れの前に必ずスイッチを切り、本体より電池パックを取外してください。けがや感電の原因になります。
- ・ 絶対に分解したり修理・改造しないでください。発火したり、異常作動してけがの原因になります。

●各部取付ネジの点検

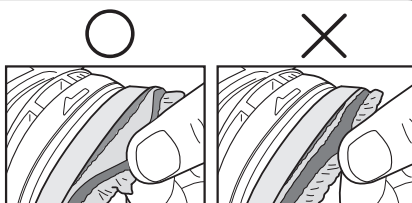
- ・ ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ・ 油汚れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ・ ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、本体の水洗いは絶対にしないでください。
- ・ ポリッシングスポンジやバフなどの汚れは、中性洗剤またはぬるま湯で押し洗いをしたのち軽く水を切り、日陰で干してください。



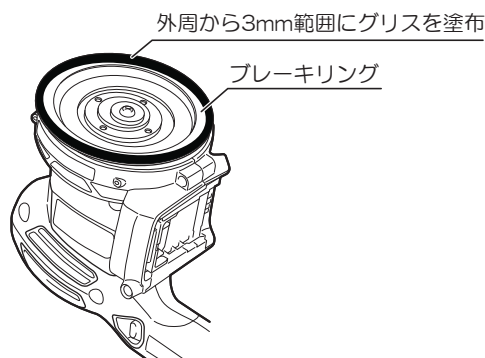
ポリッシングスポンジ、バフなどをパッドから剥がすときは、必ずマジックパッド部分を持って剥がしてください。
スポンジ部分を持って剥がすとスポンジが破損することがあります。



●摺動部（ブレーキリング、パッド）のお手入れ

- ・ブレーキリングとパッドの隙間に塗布しているグリスが、時間の経過や塵埃により劣化します。パッドに軽く負荷をかけた時に、パッドが逆回転する、または回転しない場合は、下記の手順で対処してください。

1. パッドを外します。
(19 ページ『●パッドの交換』参照)
 2. ブレーキリングとパッドに付着しているグリスや塵埃をウエスなどでふき取ります。
 3. 右図のように、ブレーキリングの外周から 3mm 範囲に新しいグリス（ニッペコ MP-1 相当または市販のシリコンスプレー）を塗布します。
 4. パッドを取付けます。
(19 ページ『●パッドの交換』参照)
- ※ ブレーキリング、パッド交換時も同様の方法でグリスを塗布してください。



●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下のおそれのあるところはさけてください。
- ・電池パックを長期間保管する場合は下記のことにご注意してください。
 - a. リチウムイオン電池は、満充電にして保管すること。
 - b. 6ヶ月に一度は充電すること。
 - c. 高温は避けること。特に 45℃以上の場所での長期保管はしないこと。
 - d. - 20℃以下で保管しないこと。
 - e. 熱源の近くや直射日光の当たる場所で保管しないこと。
 - f. 結露するような温度変化が大きい場所に保管しないこと。
 - g. 湿度が高い場所に保管しないこと。
 - h. 水を付着させないこと。
 - i. 低湿度の乾燥した場所で保管すること。
 - j. 運搬・移動時において、落下、大きな振動を与えないこと。
 - k. 短絡を防ぐため金属物に接触させないこと。
 - l. 必ず本体または充電器から取外して保管すること。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
- ・アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動工具の保守・点検・修理は受付できません。
その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問など遠慮なくお問い合わせください。

— NOTE —

部品のご入用、故障の場合、その他取り扱い上ご不明な点があった場合には、
ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

商品のお問い合わせ窓口

当社 WEB サイトのサポートページ「よくある質問」や
「チャットボット」をご利用ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/>



■メールによるお問い合わせ

QRコードまたはURLからご確認ください。
<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/info/>



■電話によるお問い合わせ

 0570-666-787

受付時間：
月曜日から金曜日（国民の祝日、当社指定休日を除く）
9時から12時まで、13時から17時まで
※通話料金はお客様負担となります。

サービスネットワーク（営業所一覧）

当社サービスネットワーク（営業所一覧）は、QRコード
またはURLからご確認ください。



<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/support/network/>

回収のために下記のリョービ電動サンダーを探しています。

| 対象商品 | 外観色調 | 生産時期 | 製造番号 |
|--------|---------|-------------|---------------|
| MS-350 | ダークグリーン | 1999年～2001年 | 44001～52000 |
| | | 2001年～2002年 | 90001～103000 |
| | | 2006年～2007年 | 178001～185000 |
| S-801 | ダークブルー | 2001年 | 12001～15730 |
| S-801S | ダークブルー | 2000年～2001年 | 6001～7828 |
| S-801M | グリーン | 2004年～2005年 | 7001～9000 |

詳細は右のQRコードまたはURLからご参照ください。

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp/notices/2012/07/000371.html>



レシート貼付

インターネット店でご購入された場合は、
領収書を印刷して貼付ください。

保証書

持込修理

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。

| | | |
|--------|----------------|----------------------------|
| モデル名 | BRSE-1800 | 製造番号（表示位置は「各部の名称」をご確認ください） |
| お客様 | お名前 | |
| | ご住所 〒 | |
| | | 電話 () |
| お買い上げ日 | 年 月 日 | 保証期間（お買い上げ日より） 6ヶ月 |
| 販売店 | 取扱販売店名・住所・電話番号 | |

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(a) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
- ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にならない場合には、京セラインダストリアルツールズ営業所にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料にさせていただきます。
(a) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障または損傷
純正品以外の補修部品や先端工具を使用したことによる故障または損傷
(b) 保管や手入れの不備による故障や損傷
(c) リースやレンタルなど使用者や使用状況が不明な場合
(d) 水の浸入による故障または損傷
(e) お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷
(f) 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷
(g) 天災、異常電圧などによる故障または損傷
(h) 使用損耗および経時変化による外観の劣化（刃物の切味低下、褪色、発錆、打痕、擦過キズなど）
(i) 本書のご提示がない場合
(j) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合
(k) モデル名、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(l) 譲渡、転売、中古、オークション、質屋、リサイクルショップで取得された場合
(m) 付属品（電池パック、充電器、キャリングケース含む）、別販売品、消耗品の場合
(n) 商品の機能に影響しない音、振動、オイルのにじみなどの感覚的現象
(o) 商品分解状態でのお持ち込み
- 修理品運搬などの付随的費用および商品を使用できなかったことによる損失（休業経費、代替資材費、役務経費等）の責任は負いかねます。
- 修理等で取り外した不具合部品は、当社所有といたします。
- 本書は日本国内においてご購入、ご使用の場合のみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

お客様の個人情報は、上記の目的以外には、一切使用いたしません。

This warranty is valid only for Japan.

■修理メモ

京セラインダストリアルツールズ株式会社

本社

広島県福山市松浜町 2-2-54 〒720-0802

<https://www.kyocera-industrialtools.co.jp>

